

通信小海

「お互い様」を超えて

牧師 水草修治

「ペイ・フォワード」という映画の紹介をラジオで聞いた。ある少年が通っている学校で、「世界を変える方法を考えてきなさい」という宿題が出された。主人公の少年は一生懸命考えて、「自分のまわりの三人のひとに、なにか思い切った親切をしよう。そして、その一人一人に、もしその親切がうれしかったら、その感謝を、私以外の三人になにか思い切った親切をすることで表わしてくださいとお願いしよう。」というアイデアを思いついた。主人公の少年は、これを実行してみた。

「今月のみことば」

「返してもらつつもりで人に貸してやつたからといって、あなたがたに何のよいところがあるでしょう。」ルカ六:三四

誤解され失敗したり落胆したりしながらも、この親切の輪はだんだんと広がっていったのである。

「おたがいさま」ということばがある。確かに善をはかってくれた人にお礼を言うのは人間としてあたりまえのこと、たいせつなことである。けれども、それだけでは親切は二人の「おたがい」の中で完結してしまう。しかも、儀礼化すると「お返し」は、えてして心という中身が失われがちではなからうか。「こんなにお返しに気を遣わなければならぬくらいなら、せっかく親切にしてください」と人に申し訳ないけれども、何もいっただかないほうが気楽だった。」ということにもなったりすることもなくはないだろう。

私たちが「私があなたにしてさしあげる親切に対しては、ほかの人にお返ししてください」と勇気をもって言ってみればどうだろうか。ここにすばらしいことが起こる。

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 長野県南佐都郡小海町大字小海四三五五 二七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

地図

集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時半

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後七時半から八時半

水曜日 祈り会 午後一時半と午後七時半

* 八千穂・海尻・川上でも家庭集会あり。

* 個人的なご相談にも乗ります。

たとえば、何かの祝いごとに集まる人々
みなが、お祝いを差し上げるとき、『半返
し』は要りません。あなたの必要のために
使ってください。でも、もし半返しの余裕
があるならば、それをほんとうに必要とし
ている人たちや施設に寄付してください」
と申し添える。そうしたら、多くの家の押
入れが実用性のない引き出物でいっぱい
になることがなくなり、本当に困った人々
が潤って社会はもつとよくなる。

もう二十年も前のこと、私の父が天に帰
ったとき、集まった香典が相当額に上つ
た。それをある施設に事情説明をそえて寄
付し、その旨を会葬の感謝状に記して発送
したことがある。会葬してくださった方た
ちと後日お話をしたら、「あのような有用
な用い方をしてくださって、とてもうれし
かったです。」といわれたことがある。心
広い友人を持った亡き父の幸いを思った
ことである。

「返してもらうつもりで人に貸してやつ
たからといって、あなたがたに何のよいと
ころがあるでしょう。」ルカ六三十四

福音指圧教室

アーキモチよかった たのしかった

日時 十一月十日(日)

午後二時から三時半

*お一人でのご参加も歓迎。

*持ち物バスタオル(敷いて使います)

*無料です

霜柱が立ち、雪が降り、いよいよ冬。いか
がお過ごしですか。寒さはからだにこたえま
す。腰痛、肩こり、ひざの痛み。

今月もたのしい指圧教室で指圧を教えて
もらいましょう。お互い押しあいこして健や
かになってください。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになつた
ほどに、世を愛された。それは御子を信じる者
がひとりとして滅びることなく永遠のいのち
を持つためである。」ヨハネ三十六

すきつ腹に夜寒

山谷に米と毛布を

木枯らしが吹いて、職も家族も失った野
宿者には夜寒がこたえる季節になってきま
した。すきつ腹にはなおのことでしょう。

山谷福祉会館では、毎日曜日に野宿者に炊
き出しをしています。倉庫に眠っている米を
ささげていただけると助かります。古米で大
丈夫です。また、毛布が必要です。押入れに
眠っている古いもので結構です。あたたかい
支援をよろしく願います。

連絡先

小海町役場 九二二二五二五

南牧村社会福祉協議会 九六一三六三三

藤田寛 ヤマト運輸・台東支店止め(着店番

号三一 五)クロナコ宅急便で

カンパ 千振替 二四 四五三七九六

山谷農場

宮やよめ

「それから、彼らはエルサレムに着いた。

イエスは宮にはいり、宮の中で売り買っている人々を追い出し始め、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒し、また宮を通りぬけて器具を運ぶことをだれにもお許しにならなかった。

そして、彼らに教えて言われた。「わたしの父の家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。」と書いてあるではありませんか。それなのに、あなたがたはそれを強盗の巢にしたのです。」

祭司長、律法学者たちは聞いて、どのようにしてイエスを殺そうかと相談した。イエスを恐れたからであった。なぜなら、群衆がみなイエスの教えに驚嘆していたからである。「マルコ十一：十五 十八

ろばの子の背に揺られて都に入城されたイエス様が最初に行ったのは、エルサレムの神殿でした。おりしも過ぎ越しの祭りという三大祭のひとつが行なわれていたときでしたから、イスラエルの国中だけでなく、はるばる海を越え、砂漠を越えて創造主である真の神をあがめる人々が、エルサレム神殿に集っていました。

ところが、この人出を金儲けのチャンスと考える連中がいたので。当時の神殿で捧げる献金には、ローマ帝国の通貨は用いられず、神殿用のものがあつたので両替をしたのですが、そのとき法外な手数料で儲ける連中がいました。また、当時の礼拝では鳩や羊などのいけにえが捧げられましたので、鳩や羊をべらぼうな値段で売りつける連中もいたので。そして、神殿の管理に当たる祭司長たちも、そのことを許し、売上の何割かを上納させていたのです。

ですから、はるばる海を越え砂漠を越えて、エルサレム神殿に祈りをささげ、礼拝をしに来た人々は、静かに祈ることなどできませんでした。喧騒の中に心騒がせて祈りどころではなかったわけです。

現世利益の欲求満足のために人間が工夫した宗教施設なら、祭りが金儲けの手段となつたとしても、不思議はありません。しかし、まことの聖なる神を礼拝するための神殿が、強盗の巢になるとはなんといい情けないことか、と主イエスは憤られたのです。

「天の父が『わたしの家はすべての民の祈りの家と呼ばれる』と聖書に啓示されているのに、おまえたちは、それを強盗の巢にしたのか!」と叫び、細縄でむちをつくつて両替人を追い出し、腰掛けや台を蹴り倒してしまわれたのです。ものすごい剣幕です。聖なる神の御名を金儲けの手段にするような連中に、あのいつもは優しい主イエスが鉄槌をくだされたのです。

食するひまも忘れて、しいたげられた人を訪ね、友なき者の友となられた主イエスは、たいへんやさしいお方でした。しかし、主イエスは単に親切な人間ではありません。真の神の御子です。この激しい怒りに、聖なる神の御子の姿を見ることができません。

軽井沢 岩村田 小海

清里で北欧四カ国風

クリスマスを開催!

小海はフィンランド

日時 十一月二三日(土)

五 四五PM

場所 小海キリスト教会会堂

*山谷支援カンパ(お金・お米・毛布)を
します。

紅葉の盛りの頃、電話がありました。「今年、小海、岩村田、清里、軽井沢で北欧四カ国風のクリスマスをするので、十一月

二十三日の夕方、教会堂でクリスマスのお話をしてほしい」とのことでした。軽井沢から小海を経て清里にいたるベルト地域を、今後日本一のクリスマス地域とすることを目指すそうで、趣意書には「各国・各地域の特色を生かして楽しいイベントを行なってまいります。クリスマスは、クリスマスを生かし、来賓者の方々の心の残るクリスマス、敬虔な気持ちを持って帰っていただくことを念頭に置いていきます。」とあります。私は、本来のクリスマスの理念をたいせつにするという趣旨であれば、ぜひ協力させていただきたいと思いました。

わが小海はサンタのふるさとフィンランド担当です。二十三日の午後、駅前のツリーのイベントから始まって、次に五時から教会堂でクリスマスの集いを持ち、その後パーティ会場である小海中跡地までキャンドル行進をするそうです。(詳細は後日実行委より)

長男が保育園のころ、クリスマスを前にこんなことを言いました。「おとうさん。クリスマスってイエスさまのおたんじょうびでしょ。だったら、イエスさまがプレゼントもらうはずなのに、なんでばくちがもらえ

るのかなあ?へんだなあ。」

サンタクロースはセント・ニコラウスのなまった呼び名です。聖ニコラウスさんは子どもが大好きで、日ごろはお菓子が食べられない貧乏な子どもに、イエス様誕生のお祝いの日クリスマスには、お菓子をプレゼントしたのだそうです。

イエス様は最後の裁きの日に、そこに立つあなたにも私にもおっしゃいます。「まことに、あなたの方に告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのはわたしにしたのです。」「最も小さい者」というのは「空腹な人、宿のない旅人、身寄りのない病人、着る物のない人」のことです。いつもはお菓子の食べられない貧乏な子どもに愛のプレゼントすることで、サンタクロースはイエス様にプレゼントしたのですね。

私たちも、十一月二十三日の一日早いクリスマス集いでは、クリスマスに表わされたほんとうの愛を味わったあと、寒空の下、おなかをすかせた山谷の人たちへの支援カンパをしたいと思えます。